



瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



今日のみことば

主の復活の聖なる徹夜祭 (2021年4月4日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

- 第一朗読：創世記 1章1、26－31a節
第二朗読：創世記 22章1－18節
第三朗読：出エジプト記 14章15節～15章1a節
第四朗読：イザヤの預言 54章5－14節
第五朗読：イザヤの預言 55章1－11節
第六朗読：バルクの預言 3章9－15、32節～4章4節
第七朗読：エゼキエルの預言 36章16－17a、18－28節
諸図書の朗読：使徒パウロのローマの教会への手紙 6章3－11節
福音朗読：マタイによる福音 28章1－10節

復活のしるし

復活とはいったいなんですか？ 降誕祭と比べて復活祭は理解しにくいかもしれません。ご降誕では神である幼子がこの世にお生まれになった。この意味を比較的単純に理解し、祝うことができます。そして、わたしたちは幼子イエスを愛することができます。ベツレヘムの暗闇、マリアの喜び、ヨセフと羊飼いたちの喜び、天使たちの喜び……。降誕祭で、幼子の誕生を喜ぶ人々の気持ちを想像できます。しかし、復活はわたしたちの経験の外側にあります。理解を超えています。だから、復活祭を迎えても、復活のメッセージを心で感じとるのが難しいかもしれません。

教会は、わたしたちが復活のもたらすメッセージを読み解くために、シンボリックな、象徴的な「しるし」を使っています。これらの「しるし」を通して、わたしたちは主の復活の出来事のすばらしさを体感できるようになるのです。復活徹夜祭では三つの「しるし」が典礼の中で示されます。光、水、そして新しい賛歌としての「アレルヤ」です。

最初に光の祭儀をおこないます。そして、第一朗読の中で天地創造の場面を耳にしました。「光あれ」(創1・3)は神の最初の言葉です。光のあるところから、いのちが生まれるのです。聖書の中では光は直接的に神を指す言葉となります。神は完全な輝き、いのちの光、真理の光です。そして、復活された方もまた光です。世の光です。復活によって神の光がこの地上の暗闇にもたらされました。「人類を

「照らす光」キリストによってわたしたちは闇の世界から光の世界に移っていくのです。かつて旧約聖書では、神の言葉、すなわち律法が、この世と人類のために神から来た光だと理解されていました。わたしたちは歌います。「神よ あなたの言葉はわたしの足の灯火、わたしの道の光」。しかし、今度は、神の言葉を実現した方、キリストが光となってわたしたちの歩みを照らしてくださるのです。この光は世界のあますところなく照らします。こうして復活のキリストによってすべての人に神の慈しみと救いをもたらされるのです。

わたしたちは、自分のローソクに復活のローソクから光を分けてもらって照らしました。この光はわたしたちの中に住む復活のキリストの光です。この光によってわたしたちは何が真実で、何が偽りなのかを、何が光で、何が闇なのかを見極めることが出来るのです。

二つ目の「しるし」は水です。水には物を清めるという力と、いのちを与えるという力があります。復活された主・キリストは尽きることのないいのちの水です。聖金曜日に読まれたヨハネ福音書では、兵士が槍でイエスのわき腹を刺すと血と水が流れ出たとありました。イエスは十字架上で死んで、ご自身が、尽きることのないいのちの水の泉となったのです。この水を受けてわたしたちは、新たに生まれ変わりました。そう、洗礼です。洗礼の時に、わたしたちは水を受けます。この水で罪は清められ、古い自分に死に、新しい神のいのちをいただいて神の子となっていったのです。この後、典礼の中で洗礼の更新をし、水によって皆さんを祝福しますが、それはキリストのいのちの水によって新たに生まれ変わった洗礼の時を思い出すだけではなく、私たち一人ひとりの心の中にも尽きることのないいのちの水の泉があって、その水によってこれからも生かされていくのだという決意を新たにするためなのです。

第三の「しるし」は、新しい歌としての「アレルヤ」です。人は大きな喜びを体験したとき、それを誰かに知らせたい。それは言葉に言葉を重ねて伝えるのではなく、単純な言葉で、喜びを与えてくださった方、神に賛美と感謝を表そうとします。復活された主キリストの光に触れ、キリストの光に従って人生を歩もうとするとき、尽きることのないいのちの水によって生かされて、新たな生き方を始めようとするとき、人はこの喜びの出来事を歌わないわけにはいかないのです。実際、四旬節の間、わたしたちは「アレルヤ」を歌わなかった。しかし今、死者の中から立ち上がられたキリストに出会って、神を賛美するため、新しい歌、新しい賛歌「アレルヤ」を歌うことができるのです。

光、水、新しい歌、これらのシンボリックな「しるし」を通じて、わたしたちは、イエスは死んで復活されたのだという事実を体験していくのです。しかし、それは個人的な信仰体験ではありません。教会の共同体と共に体験していくのです。